

ボランティア かわらばん

2014年

SINCE 1977

8月 No.381

編集発行 ながのボランティアかわらばん編集委員会

【発行所】

〒380-0813 長野市緑町1714-5


長野市ボランティアセンター内

TEL:026-227-3707 FAX:026-224-1513

URL <http://vnetnagano.or.jp>

E-mail: volucen@vnetnagano.or.jp




 コナン
大学4年生男子

 はる
高校1年生女子

 もこみち
社会人20代男子

 バえず
大学4年生男子

 山先生
大学1年生男子

 トム・クルーズ
ファシリテーター

 ふう
大学4年生男子

 たかよ
高校3年生女子

 はるか
高校3年生女子


 ネイマール
大学4年生男子

座談会メンバー ニックネームで紹介

「戦争について話してみよう」呼びかけに集まったのは、部活や受験勉強に忙しい高校生、就職活動中の大学生、高校時代に松代大本営の保存活動をしていた大学生、そして社会人。年代も所属もバラバラな若者9人です。進行役に、会社や地域でファシリテーターの経験がある男性を加え、合わせて10人！さて、どんな話が始まるのでしょうか。

みんながネットワーク

このかわらばんは信販販売センターのご好意で一部の地域へボランティアで配布していただいています。

「ボランティアかわらばん」は共同募金  のご協力で発行しています。

表紙題字：青木孝子さん

トム 「戦争」を辞書で調べると「兵器を使った争い」「激しく争うさま」と書いてある。みんなはどう思う？

山先生 自分の方が正しいと思うときに、戦争で解決しようと。べえず 力を持っている人と、持っていない人の「格差」。一方的に力を持っている人が「従わせている」状況を打破するために、格差をなくそうと起きるんじゃないか。

はるか 学校で言い争いになる

**戦争ってなんだろう？
どうして戦争が起きるの？**

「戦争といっても何について話したい？」。ファシリテーター(※)のトムさんが最初に投げかけました。「戦争に反対か賛成か聞きたい」「集団的自衛権、北朝鮮のミサイル、ウクライナ情勢など「今起きている社会問題について知りたい」「若い世代も戦争について知らないといけない」といった意見が出ました。

そして「戦争になったらどうする？」と自分自身の立場から考える発言が出てきました。ここから話が広がっていきます。



「自分と違う考えの意見も尊重しよう」
みんなでルールを決めてスタートしました

ことがある。そういう小さなこととの主張が、戦争になるのかな。

べえず 武士が領地を争ったのも戦争？「いくさ」とは違う？

山先生 戦国時代は身近に戦いが多かった時代。

べえず 「いくさ」は、その地域の人みんなで応援している。今の「戦争」とは違ったもの。

ふう 共通点としては、勝った方には何かしら「利益」がある。それが戦争が起こる理由。昔は領地、今だったら国の財産、石油とか。

べえず ものを取り合うことで戦いは起きる。それは共通点。

山先生 自分の国が平和であっても、まわりをみれば、戦争し

ている。世界を統一するという動きは見えない。

集団的自衛権って？

べえず ニュースで聞いたのは、今の日本は憲法で「戦争しない国」となっているけれど、集団的自衛権を認めることによって、同盟関係があるアメリカがどこかの国から攻撃を受けた場合に、日本もその国を攻撃できるようになるということ。

山先生 自衛隊がどうしてあるのか。「戦争しない国」とは矛盾していない？

ネイマール 自衛隊があることで、力を見せられる。原発にしても、作る技術があると見せていくため。そういう力がないと襲われるかもしれないと聞いた。集団的自衛権は解釈があいまい。「助けに行く」というのは、国が決めて、国民は決められない。そこがみんな反対しているところでは。

べえず 今聞いていると、ここにいる人は全員戦争に反対。それを覆さないと戦争はできない。

山先生 大本営の保存活動で、

いろいろな人の話を聞いて感じたのは、僕たちは「戦争をなくして欲しい」と願いを託された世代だということ。昔は「赤紙」がきて召集された。国のために働かされた。

トム 「赤紙」が来ると、家族は悲しかったかもしれないが、お国のため「光荣」なことで送り出した。でも今、もし召集令状が来たら、家族は「行くな」と言うと思う。

日本が戦争することになったらどうする？

もこみち まず、何で戦争するのかわからないし、勝つてどう



人前で話すのは苦手、と言っていた人も
少しずつ自分の意見を伝えられるように

戦争って? 考えてみた

はじめて



はる
高校1年生女子



もこみち
社会人20代男子



コナン
大学4年生男子



たかよ
高校3年生女子



席決めはフルーツバスケットで! テーマは「夏といえば〇〇」

なるのか、負けてどうなるのかも。でも戦争するってなったら、反対。たかよ もし今、戦争になったら、自分がどうしたいのか、調べて考えたい。

はる 私は弟がいるので、戦争になって弟が召集されたら、行かないように逃がしてあげたい。

ネイマール 集団的自衛権とか大きな話は、自分たちでは変えられない。できることは、戦争に巻き込まれないためには、経済大国として技術力を高めて、世界にとって必要な国となる。

トム 日本が唯一、戦争をしないことを主張できるのでは。「日本、目覚めろ!」。

日本が戦争しない国にするにはどうしたらいい?

ふう 「集団的支援」ができればいい。友好関係を広げていければ。あと、日本の良さを知ってもらおうことで、この国の魅力を壊してはならないと思ってもらえる。

山先生 家族をおいて、自分は戦争に行ってしまうのか、家族を守るのか。個人的には、家族を守ってという方が、イメージはいいかな。

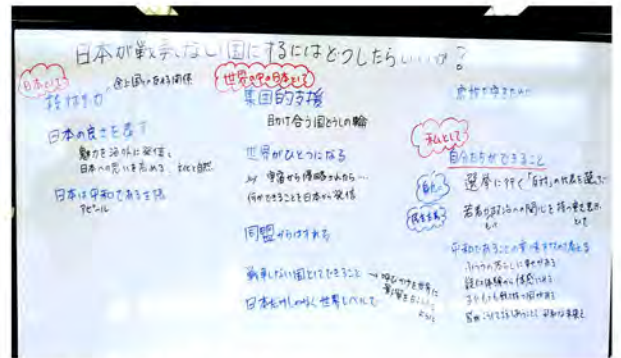
たかよ 日本が戦争しないには、「戦争しません」というアピールが大事。

はるか 日本が戦争になる、ということが想像できない。

ふう 日本の中から崩壊しちゃうのかな。

コナン 個人的には戦争しない方がいいと思ってるし、したくないと思ってる。お国のためよりも、自分の命を大事にする。日本人の思想にも、もう徴兵は合わないと思う。

トム いろんな意見が出たけれど今日の着地点は、どういうところにしようか?



戦争しない国にするには... 国としてできること、自分ができていることを考えました

もこみち コナンさんと話したが、「選挙に行くこと」。国を代表して話をするのは、選挙で選ばれた人。戦争に反対なら、同じ考えの人をしっかりと選挙で選ぶ。それがまず自分たちができること。

あと、発展途上国に技術指導に行つて、友好関係を深めたり。

コナン 僕もまずは「選挙」。若者の政治関心が離れているとニュースで見ると、もうちょっと関心を持つて「意思表示」をしていこうと思う。

べえず 日本が「平和である」というのを実感しないと。朝昼夜ごはんが食べられて、ふかふかのベッドで寝られて、ごく当たり前の一

日がある。それは「平和」なことだと実感する必要がある。

ネイマール 世界で戦争しているところは、子どもも鉄砲持って戦っている。僕たちはすごく幸せ。それをみんなが感じられるようになったら、平和な未来が築けるんじゃないかな。

はるか 世界全体が戦争しないように考えられるようにならないとダメ。

はる 日本から戦争しないようにアピールしていけばいい。

トム ひとつ「選挙に行く」というのは、今日みんなが共通して理解したこと。今ここから「戦争」について考えるのが始まった感じがします。

白熱した議論は3時間に及びました。参加者からは「いろんな人の意見が聞けて新鮮」「もっと戦争のことを学びたい」「集団的自衛権など基本的な知識を得たい」「戦争について考えるきっかけができた」などの感想が聞かれました。様々な関心を持ったようです。みなさんは「戦争」について、どう考えますか?

7月6日、長野市ふれあい福祉センターで「まちの縁側育みプロジェクト」が主催「まちの縁側楽会」が開催され、60名の縁側人*が集いました。今回のテーマは「まちの縁側が地域を変える」。3部構成で、第1部は延藤安弘先生の幻燈会。軽妙で奥深い語り口にひきこまれました。ヒト・モノ・コト・トキが紡ぎ出す物語に、縁側が地域を変えていくエネルギーとなることを実感。

第2部の昼食縁側で交流を楽しんだ後、第3部はまちの縁側談義。縁側人から知恵と思いの提案がありました。

私が参加した第一分科会は、「川中島の保健室」を開いている元養護教諭の白澤草子さんをゲストに迎えました。

白澤さんは「学校に保健室があるように地域にも保健室があってもいい」との思いを自宅を開いて実践しています。今や3歳から80歳の地域の皆さんが集う場となっていて、自分がまず楽しく、夫も巻き込んで活動され

まちの縁側 in 縁側楽会

ヒト・コト・モノ・トキが紡ぐ



ている様子をドラえもんのポケットのごとく次々と資料を出して語られました。また「人知れず良いことを繰り返す、他人の成功を心から祝福できる、どんな人にもすべての人に愛をもって接する、そうすると福がつく人になれる」という言葉も紹介されました。



参加者からは縁側を長い期間開いていると、来る方が固定化してしまうことや近所の方があまり来ないことの悩みも話されました。それでも、継続すること、勇気をもって行動することで「福がつく人」になれるということを確認しました。(寄稿・村瀬和子)

サマチャレ速報! 事前研修会



7月19日、サマーチャレンジボランティアの事前研修会に、参加者268名が集まりました！今年も、参加者自身が話し合っ

て「みんなのサマチャレルール」を作りました。グループに分かれて自己紹介から始まり、最初はみんな緊張している様子で、ポツリポツリと言葉少なめ。でも時間が経つにつれて、笑顔も出て話し合いも盛り上がってきます。冗談も交えながら紙に溢れんばかりの意見が出てくるから、これまた驚き！

「時間厳守」「あいさつをきちんとする」といった基本的なものだけでなく、「相手の気持ちに寄り添う」「スマイルで！」



「利用者もボランティアもみんなが満足」など前向きな意見がたくさん。中には「朝ごはんをしっかりと食べる」という個人的なものもありました！

参加者から、「自分たちで作ると、ルールって堅苦しいだけのものじゃないんだ」「とても新鮮だった」「ルールを突き出されるよりも、より責任感が湧いて守ろうという気になる」という感想も。積極的にエネルギーシユな参加者と盛り上がった一日でした。

サマチャレを前に今の気持ち聞いてみると…大半の人が「楽しみと不安な気持ち」だそうです。

みんな頑張れ!

グループは学年もさまざま。どんどん意見が出てきます!



いつもくんが行く!

宅老所「やまや」さんで うどん作り体験!



安茂里にある「宅老所やまや」は、みんなでご飯やおやつを作ったり、家に友達が集まっているような、アットホームな所なんだ! そんな「やまや」で、新たな試みとしてシニア大学を卒業した皆さんがボランティアで、出張うどん作りをすると聞いて、早速お邪魔してきたよ。

当日は、ビニール袋を使って簡単にできるうどん作り。みんな「こんな簡単でいいの?」と、目を丸くしてた! さすがに長年主婦をしてきた利用者さんの手つきには、ボクはとうていかなわなかったよ。レシピを何度も聞いている人もいたり、「おいしいねえ」「孫と一緒にやりたいね」なーんて話も弾んでたんだ!

たくさん笑顔に溢れていて、元気とパワーをもらったよ。新しいボランティア誕生と、今までにない人とのつながりが生まれたこの日のうどんは、今までで一番おいしかったなあ。



しあわせの園芸 さひわの園芸

夏の風物詩 つりしのぶ

水かけて
夜にしたりけり
釣忍
〈小林一茶〉

6月17日、市内かがやきひろばの講座で『つくってみよう! つりしのぶ』にご参加の皆さま。
あれから2週間以上経ちますので、かわいいぜんまいのような芽が出てきて笑顔になっていることと成長しています。お盆までにはもっと成長しているので自慢の作品になっているはず。軒先や樹木の枝につるし、冒頭の俳句の短冊の付いた風鈴が風によげば、涼感も風情も楽しめるというものです。



で、多少難しい点はありましたが、どなたも完成してうれしそうにお持ち帰りになりましたね。
「つりしのぶ」をまだご存知でない方のために。材料をいただいたつりしのぶ園の方によれば、江戸時代に深川周辺に住んでいた植木職人によりいろいろな形が作られ、出入りのお屋敷に飾られ、疫病や魔除けの風鈴を付け全国に広まったということです。(徳永淳子)

*タイトルの意味
あなた(人・植物・ものなど)と私のすることがあわさり、一人でなく、いろんな人やものと、にぎわうところに幸せがある。

ボラセン ホッと物語



ある日、視覚障がいのAさんからボラセンに電話がありました。「南京玉すだれをやってみたい。とてもおもしろそう。できるようになったらいろんな人に見てもらいたいんだ。自分も誰かのお役に立てるかなと思って」と。

そこで、南京玉すだれをやっているグループのBさんに連絡し、最初はグループの練習の仲間に入れていただけないか相談しましたが、グループの練習場所はAさんのお宅から少し遠いことがわかりました。どうしたものか・・・。

困っているとBさんから「私が個人的にボランティアで教えますよ」と嬉しい一言が! Aさんはさっそく南京玉すだれを購入。ボラセンの一角で練習が始まりました。練習風景を見ていた方が「すご〜い」と感動していたところ、Aさんから「こう見えても私、目が見えないんです」という言葉。一同は驚きと拍手喝采。

さてさて、Aさんの晴れ舞台はいつでしょうか? 皆さん、お楽しみに〜。



講座

■チャイルドラインながの 「受け手」ボランティア養成講座 受講生募集

電話を通して子どもの心に寄り添い、気持ちを受けとめる活動です。

日時：9月6日(土)～11月8日(土) 13:30～17:45
 場所：もんぜんぷら座／参加費：第1回無料、第2～9回各1,080円(受け手をを目指す方は全講座8,640円)
 問：ながのこどもの城いきいきプロジェクト
 TEL：090-9667-0874/e-mail：cln0874@yahoo.co.jp

■コーラスボランティア講座 (追加募集)

コーラスを中心とした活動を目ざして、楽しくステキな歌を学んでください。歌の大好きな方、お待ちしております。
 日時：第2・4金曜日 14:15～15:15/場所：かがやきひろば篠ノ井/定員：10人/講師：坂 千賀子さん
 参加費：受講料1回100円、テキスト代1,000円～
 申込：8月末まで/問：かがやきひろば篠ノ井(画)
 TEL：026-293-2001



長野市ボランティアセンターに
ご寄付ありがとうございました!

ハガキ、切手、テレフォンカード、ベルマーク等
(6月23日～7月25日分)

長野中央郵便局、かがやきひろば鬼無里、松下信彦、ながの国際交流スポーツクラブ、榎前田鉄工所、柳澤寿枝子、長野モラロジー(石田)、本多あけみ、市厚生課、駅周辺整備局、こども未来部(敬称略) 有効に活用させていただきます。

「ばそこん遊楽クラブ」さんから、アイマスク50枚を寄付いただきました。学校への貸し出しなどに利用させていただきます。



長野市ボランティアセンターで開催される、ちょっとボランティアの場です。いずれも申込みは不要です。どなたでもお気軽にどうぞ!

問：長野市ボランティアセンター

TEL：026-227-3707

🍃 エコ封筒を作ろう

古いカレンダーで封筒を作ります。
9月2日(火) 10:00～12:00



🌿 グリーンカフェ

グリーンカーテンで収穫したゴーヤを使って
みんなでお料理します。
8月19日(火) 10:00～15:00
参加費：100円/持物：エプロン



👑 ながの福ソウくんプロジェクト

小物づくりをして、売上で被災地の小学校に本を送ります。どなたでもお気軽にご参加いただけるサロンです。

〈昼の部〉8月28日、9月11日、25日(木)
13:30～15:30

〈夜の部〉8月26日(火) 18:30～20:30



長野市ボランティアセンター

現場状況 6 月分

(取りまとめ期間:6月1日～6月30日)

相談件数	
ボランティアしたい	29 件
ボランティア求む	27 件
情報求む	47 件
ボランティア活動支援	90 件
ボランティア活動上の悩み	10 件
よろず相談・悩みごと	2 件
ボランティア保険・事故処理	3 件
その他	9 件
合計	217 件

問い合わせ件数	
会議室予約	575 件
伝言	482 件
情報提供	485 件
機材貸し出し	575 件
チラシ・掲示板	156 件
その他	376 件
受付(よりのい会等)	226 件
合計	2875 件

その他	
情報カード受付	60 件
機材貸し出し	29 件
ボランティア保険加入	
ボランティア活動保険	31 件
行幸用保険	34 件
在宅福祉サービス総合保険	1 件
送迎サービス補償保険	1 件
合計	156 件

ボランティア情報

■玉音放送と戦争体験を聞く集い 「私たちの戦争悲話8選」



「戦争がうばったモノの大きさは計り知れない」を副題に、シベリア抑留、大陸の花嫁、満蒙開拓、青少年義勇軍などの体験を持つ8名の朗読を聞き、平和を考えます。
日時：8月15日(金) 13:45~16:00/場所：長野市生涯学習センター/講師：戦争体験者/参加費：300円(資料代)/申込：不要/問：自分史を綴り語り継ぐ会(細川)/TEL：026-237-9393/FAX：026-237-9355

■ユーモアあふれるコミュニケーション

人と人を笑顔で結ぶクリニックラウンとは？ 医療・福祉・ボランティアなどに関わる方々、どなたでもご参加いただけます。

日時：8月30日(土) 13:00~16:00/場所：コスモステッセホール(長野市小島田)/講師：塚原茂幸さん
参加費：1,000円/問：NPO法人 長野音楽療法研究会(室川)/TEL・FAX：026-263-7832

■無料学習サポートきずな塾



一人の子どもに一人のサポーターがつき、ていねいに教えます。学習スペースと交流スペースに分かれていますので、おしゃべりもOK。9日は簡単な昼食を用意します。

日時：8月9日(土) 10:00~15:00、8月22日(金) 17:30~19:30/場所：長野中央介護センターつるが
対象：小学生から高校生/講師：元教員、学生など
参加費：無料/問：反貧困ネット長野(宮崎)
TEL：070-6988-2771
e-mail：y-miyazaki@healthcoop-nagano.or.jp

■働きたいママ応援企業と交流ランチ会

こんな機会はめったにない！ 在宅ワーク・派遣でママを雇用している会社さんとランチ！ 気になることは何でもごさくばらんに聞いてみましょう！

日時：8月28日(木)/場所：かりん亭(稲里)/講師：月刊モナミ編集長、ママLife代表、カシヨ株式会社キャリア担当/対象：子育てママ/参加費：2,000円(食事代込)/定員：24人/問：Mam's Style実行委員会(松井)/TEL：090-1043-3909/e-mail：togenukijizo15@gmail.com

■男性限定体操教室 ManパワーUP！



男性の方、仲間と一緒に体を動かしませんか？
日時：9月18日(木)~H27年1月 全10回 14:30~16:00
場所：三陽保健福祉センター/対象：60歳以上の男性、全日程受講できる方/定員：20人
講師：深谷さよ子さん/参加費：1,000円(10回分)
持ち物：筆記用具、飲み物、汗拭きタオル
申込：8月25日~29日 9:00~16:00
問：かがやきひろば三陽(小宮山)/TEL：026-259-2411

■おしゃべりサロン ゆるりの会

おしゃべりとお茶のみサロンです。簡単な作業をすることもあります。どなたでもお気軽にどうぞ。

日時：8月27日(水) 10:30~12:00/場所：長野市ボランティアセンター/参加費：無料/問：おしゃべりボランティア野菊(小山)/TEL：026-295-6300



■月例情報市場

活動を進めるために、異業種と交流してみませんか？ 参加申し込み不要。誰でもお気軽にチラシや名刺持参でお出かけください。広報にfacebookを活用するヒントも。

日時：8月20日(水) 9月17日(水) 16:00~17:00
場所：長野市ふれあい福祉センター/参加費なし/問：ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク事務局
TEL：026-227-3707(長野市ボランティアセンター内)
e-mail：info@nagano-shien.net

■笑いヨガと脳活性化リハビリゲーム スリーA

笑いヨガと脳活性化リハビリゲーム「スリーA」で笑いのシャワーと優しさのシャワーをあびて、心も身体もリフレッシュ！ 自信と意欲がわいてきます。最高に楽しい時を！

日時：9月6日(土) 10:00~12:00(終了後交流会あり)
場所：城山公民館第2分館/定員：20人/持ち物：動きやすい服装/講師：中川満子さん/参加費：500円/問：心と身体のハッピー研究会(中川)/TEL：090-6466-4723

■健康を考える交流会「健康と予防」

自分の健康は情報を持って守ろう！ 楽しく交流してみると、いっぱい情報が入ってきます。

日時：8月23日(土) 13:30~15:30/場所：安茂里公民館/定員：20人/参加費：300円(お茶代)
問：健康な未来を考えるSowing.net(高遠)
TEL：090-2179-9741/e-mail：Sowing.net@gmail.com

■障がい者スポーツ講習会



毎日暑いけど、楽しく元気にスポーツしましょう！ 参加、待ってま〜す。

日時：フライングディスク・ハンドアーチェリー・ボッチャ 8月23日(土) 9:30~11:30 長野市障害者福祉センター(他、投てき・水泳・マレットゴルフもあり。日時等はお問合せください)/対象：市内在住・在勤の中学生以上の障がい者/参加費：無料/問：長野市障害者スポーツ協会(赤松)/TEL・FAX：026-266-8834

■無料 調停相談会

社会一般のトラブル、家庭内のトラブルについて調停委員が相談にのります。どなたでも無料でご利用いただけます。

日時：9月7日(日) 10:00~15:00/場所：もんぜんぶら座/参加費：無料/申込：不要
問：長野調停協会事務局(越志)/TEL：090-4532-7880

ボランティア情報



9月号は8月29日(金)発行予定。情報掲載希望は8月15日(金)までにお問合せください。〈TEL: 026-227-3707〉

ボランティア・地域活動コーディネーター力養成講座

＊「まちの縁側講座」

まちに出て、地域のことをあらためて知りませんか。ヒトコトモノのゆるやかなつながりや、安心な居場所を考えます。

- 講師：延藤安弘さん
(NPO法人まちの縁側育み隊代表理事)
- 参加費：各 1,000円
- 申込：参加したい地区を選び 8月31日(日)まで

大岡 9月9日(火) 10:00~15:30
場所：高巖寺

更北 9月10日(水) 14:00~16:45
場所：更北公民館

中御所 9月10日(水) 9:00~12:30
場所：中御所公民館



＊「読まれるチラシはこう作る！」

読まれるチラシと、読んでもらえないチラシ、何が違うの? 『違いのわかる人』になるう! すぐに役立つ、実践的なアドバイス満載の講座です。

- 日時：9月1日(月) 13:30~16:30
- 場所：長野市ふれあい福祉センター
- 参加費：1,000円 ■定員：30人
- 講師：岡村好子さん(広報アドバイザー)
- 申込：8月28日(木)まで



《申込み・問合せ》
長野市ボランティアセンター
TEL: 026-227-3707
FAX: 026-224-1513

第28回全国ボランティアフェスティバルぎふ

各地域での実践や活動者の想いを岐阜に集い、地域でおきている様々な問題を考えます。地域力の再発見と新しい地域社会のあり方を提案しましょう。記念講演、トークセッション、分科会などのプログラムを予定しています。

- 日時：9月27日(土)、28日(日)
- 場所：長良川国際会議場 他(岐阜市)
- 参加費：3,000円(大学生以下無料)
- 申込：8月22日(金)まで
- 問合せ：岐阜県社会福祉協議会 TEL: 058-274-2940

募集

■栗田病院祭 ボランティア募集

栗田病院祭の運営スタッフとしてご参加ください。今年は特に参加型・体験型をテーマに公開講座やステージ、バザーなどのお手伝いをお願いします。一緒に楽しみましょう!(昼食用意します)

日時：9月13日(土)、14日(日) 9:00~15:00
場所：栗田病院/対象：中学生以上(未成年者は保護者の同意必要)/問：栗田病院(平櫛)/TEL: 026-226-1311

■猫の里親さん募集中

子猫から大人猫まで、たくさんの猫たちの新しい家族を探しています。一緒にボランティアをしてくださる方も募集

しています。1匹でも多くの猫たちを救ってください。
問：こちら肉球クラブ(千葉)/TEL: 090-8515-9259
HP: <http://dogcatpad.web.fc2.com/>



イベント

■リフレッシュ広場「うたごえ喫茶」します!

地域で暮らす障がいを持った方々の休日支援をしています。地域の人々と懐かしい歌、フォークソングまで、お茶を飲みながら歌いましょう。会場お手伝いのボランティアも募集。

日時：9月21日(日) 13:30~15:30/場所：長野市障害者福祉センター/参加費：一般300円(茶菓付)/問：NPO法人麦っ子広場(井上)/TEL・FAX: 026-223-1718